

令和6年度 水田園芸推進研修会開催要領

1 目 的

水田を活用した農業において所得を確保し、経営を継続していくため、機械化や省力化が可能な6品目を選定し、栽培技術の向上、機械の共同利用、広域利用施設の整備等による産地化を進め、水田園芸の取組が拡大している。

しかしながら、反収の伸び悩みや労力不足等により、個々の経営体では小規模な取組に留まっている状況がある。

また、農業資材や輸送コストの上昇などを踏まえ、安定した経営を行っていくため、需要の増加が見込まれる加工・業務用などでの契約的取引を拡大していく必要がある。

そこで、規模拡大を進め、収益性の向上を図ることを目的に、生産性の向上や労力補完の仕組みづくり、安定した販売に取り組まれている事例を共有し、産地化に向けた方向性等について意見交換を行う推進研修会を開催する。

2 日 時

令和7年3月18日（火） 13：30～16：40

3 場 所

島根県立男女共同参画センターあすてらす（島根県大田市大田町大田イ 236-4）
※隠岐、松江、益田にリモート会場設置

4 参集者

集落営農組織、認定農業者、認定新規就農者などの農業者
市町村、島根県農業協同組合、島根県などの関係機関

5 共 催

島根県農業協同組合、株式会社JAアグリ島根、島根県農林水産部産地支援課

6 内 容

（1）基調講演（90分）

1) 国産野菜シェア奪還プロジェクトの取組（40分）

〈講師〉農林水産省農産局園芸作物課園芸流通加工対策室 室長 宇井 伸一 氏

2) 滋賀県湖北地域における水田転換畑での生産性向上、規模拡大の取組

（50分）

〈講師〉滋賀県湖北農業農村振興事務所農産普及課 副主幹 改田 茂典 氏

（2）事例発表（30分）

1) ほ場整備を契機とした機械整備等によるタマネギ生産の取組（15分）

〈発表者〉農事組合法人ファームよしだ 代表理事組合長 新田 徹 氏

2) 雲南地区における水田園芸の取組（15分）

〈発表者〉JAしまね雲南地区本部営農部営農指導課 渡邊 恵 氏

（3）ディスカッション（20分）

基調講演講師、事例発表者による産地化に向けたディスカッション

（4）その他（情報提供）（10分）

7 参加申込

参加を希望される方は、別紙の参加報告書を3月7日（金）までに島根県農林水産部産地支援課水田園芸係に提出してください。